

# まちづくり新聞

## 神納東地域

### 創刊号(第1号)

# 神納東のまちづくりが始まります

## まちづくり協議会設立

### 規約、計画を承認

3月14日、神林農村環境改善センターに於いて、神納東地域まちづくり協議会の設立総会が開催されました。

まだまだ寒い、平日の夜にもかかわらず、代議員等約50名の方にお集まりいただき、また来賓として、村上市長(鈴木副市長代理出席)、木村貞雄市議員、平山耕市市議員にも出席いただきました。

総会では、まちづくり協議会の規約、役員を選出、まちづくり計画が承認され、平成24年度4月からまちづくりに取り組む体制が出来ました。

まちづくり計画では、「心やさしく安全に暮らせる神納東」を基本理念に定められました。

【裏面に関連記事】



## 会長、副会長を選出

まちづくり協議会の会長、副会長が選出されました。会長に、上助洲集落の八藤後敬一さん、副会長に山屋集落の島田薫さんが承認されました。八藤後会長は、「準備会では、まちづくりって何?から始まり、色々な質問を取り交わす中で話し合いが行われました。」

ことわざでは、遠い親戚よりも身近な他人と言われます。ここからの地域は正にそのとおりで、隣近所の助け合い、コミュニケーションが大事になってきます。」と開会の挨拶で述べられました。

また、会長、副会長の就任の挨拶では、地域の皆さんのご支援をお願いしました。



## まちづくり掲示板

### まちづくり協議会(お知らせ)

まちづくり協議会の運営委員が選出されました。

- 里本庄 磯部久人
- 山屋 中山忠勝
- 山屋 島田 薫
- 山屋 齋藤辰弥
- 上助洲 八藤後敬一
- 上助洲 鈴木禎明
- 下助洲 横山房夫
- 下助洲 横山光治
- 志田平 木村太文
- 志田平 木村重幸
- 七湊 寺澤 毅
- 七湊 松浦直樹

### まちづくり協議会(お知らせ)

まちづくり協議会の監事が選出されました。

- 山屋 木村賢次
- 上助洲 中村悦夫

“神納東の元気づくり”で検索

## 平成24年度事業計画

①花いっぱいプロジェクト 運営委員が中心となって検討し、住民参加で実施する。

②集落活動支援 上限額を設定し、集落が取り組む事業を支援する。

- ・里本庄 炭焼き小屋を補修し、地域の交流拠点として整備する。
- ・山屋 集落盆踊りで、世代間の交流、地域の交流を深める。
- ・上助洲 集落の公園を適切に管理し、地域住民の交流の場とする。
- ・下助洲 集落の伝承芸能(剣舞、獅子舞)を通じて、集落の活性化を図る。
- ・志田平 集落で収穫感謝祭を開催し、子どもからお年寄りまで参加して、交流を図る。
- ・七湊 集落で収穫感謝祭を開催し、子どもからお年寄りまで参加して、交流を図る。

③神林地区敬老会 神林地区敬老会実行委員会に参画し、実施する。

④神納東地域運動会 運営委員が中心となって検討し、住民参加で実施する。

⑤まちづくり研修会の実施 まちづくりに対する理解と意識向上を図る。

⑥まちづくり新聞の発行 まちづくりの情報を公開し、事業への参加を募る。



※まちづくり計画と事業計画について

設立総会では、神納東地域のまちづくり計画が承認されました。まちづくり計画は、神納東地域の目指すまちづくりを地域の皆さんに明確に示し、ご理解をいただくための計画です。また、平成24年度の事業計画と予算が承認されました。まちづくり計画を実現していくために具体的な取り組みを進めていきますが、「いつ、誰が、どうやっていくのか」ということから、地域で話し合って決めていきます。多くの皆さんの参加をお願いいたします。

## 平成24年度の収支予算

○収支予算額 108万7千円

主な収入項目と額	
・地域まちづくり交付金	106万1千円
主な支出項目と額	
・花いっぱいプロジェクト	30万円
・集落活動支援	18万円
・神林地区敬老会	5万円
・神納東地域運動会	15万円
・研修費	15万円
・報償費	18万円

## ご意見・ご感想・お問い合わせは、

- 村上市神林支所  
地域振興課自治振興室
- 電話・告知端末  
0254-66-6122
- 自治振興室メール  
k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

## 神納東地域まちづくり準備会 第六回準備会報告(3/6)

設立総会の議案の最終確認と進行の打合せをしました。協議会設立により、設立準備会は解散となりました。

## 《まちづくり雑記》

設立総会が無事終わりました。これから神納東地域のまちづくりが始まります。すぐにも事業実施と言いたいところですが、まずは、どのように進めるのかを話し合います。話し合いをしていく過程も大事なまちづくりだと思えます。

神納東担当 東 敏之

# 神納東地域まちづくり計画(実施年度:H24年度~H26年度)

## 1. まちづくりの基本理念、将来像

### 基本理念

心やさしく安全に暮らせる神納東

～ 笑顔があふれる集落・地域を目指して ～

### <目指すべき地域の将来像>

- ・生活の安定と利便性を維持し、いつまでも家族一緒に暮らせる集落・地域
- ・豊かな自然環境を守り、人と自然がふれあうことができる集落・地域
- ・みんなで話し合い、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる集落・地域

## 2. 地域の特徴、課題

神納東地域は、旧神林村の北部に位置し、旧村上市に接する農村地帯である。南北に、JR羽越本線、日本海東北自動車道(村上瀬波温泉IC)と国道7号が縦断し、東からは国道290号が接続する交通の要衝であり、交通量が多い地域となっている。土地のほとんどが田と山林によって占められており、米作主体の農業が中心だったが、近年は交通の便利さから、国道7号線沿いを中心に事業所や店舗、ショッピングセンター等が進出してきている。

当地域の居住人口は、約400世帯、1,400人程度である。6つの集落により構成されており、各集落がコミュニティの中心として活動している。また、神納東小学校を中心とした地域コミュニティがあり、6集落の交流の場となっている。

自然に恵まれ、集落を中心とした人付き合いを通し、安全安心な暮らしがある。交通・買い物の便にも恵まれており、近年では他地域からの転入も見られる。しかし、少子高齢化や働き場所の減少とともに、居住人口は減少傾向であり、高齢者世帯が増加している。就業形態、趣味・趣向の多様化や子どもの減少による地域活動等の停滞、近所付き合いの希薄化が懸念される一方、交通網の拡充に伴う事故や犯罪の増加に対する不安も高まっている。

現在の安全安心な暮らしを守り、魅力あふれる元気なまちづくりを推進するためには、地域の力が不可欠であり、住民と行政が一体となって取り組むことが求められている。

## 5. 事業評価と計画の見直し(平成26年度中)

評議委員会	・事業の評価 ・協議会への助言
運営委員会	・事業計画の立案 ・事業計画の見直し

## 3. 事業実施の基本方針と具体的な取り組みの方向性

### 4つの基本方針

1 地域の景観を整備することにより、快適な生活空間をつくります。

2 集落内の人と人とのつながりを深め、安全安心な生活を守ります。

3 世代間の交流を進め、助け合いの気持ちを育みます。

4 小学校区単位での活動を支援し、集落を越えた交流の場をつくります。

### 具体的な取り組みの方向性

- ・身近な所に花や緑を植えることによる快適な生活空間の創出
- ・ゴミの不法投棄の抑止効果による生活環境悪化の防止
- ・多くの人が行き交う場所の景観美化による地域PR
- ・住民参加による地域内交流の促進と花や緑に対する意識醸成

- ・住民同士の交流促進による防犯、防災機能の強化
- ・住民自ら集落内の課題解決を図る取り組み
- ・郷土に対する理解と愛着を深めることによる伝統行事の活性化

- ・世代間の相互理解による互恵関係の構築
- ・集落内、地域内での相互扶助の意識醸成
- ・世代間の交流促進による地域活動の活発化

- ・生活を豊かにするレクリエーションの場の創出
- ・地域内集落の協力関係の構築
- ・地域の将来を担う人材の育成と仲間づくり

## 4. 事業計画年度

事業項目	実施年度			備考
	24	25	26	
1 地域の景観を整備することにより、快適な生活空間をつくります。	花いっぱいプロジェクトの推進	→		重点実施
2 集落内の人と人とのつながりを深め、安全安心な生活を守ります。	集落活動への支援	→		
3 世代間の交流を進め、助け合いの気持ちを育みます。	神林地区敬老会の開催	→		
4 小学校区単位での活動を支援し、集落を越えた交流の場をつくります。	地域運動会の開催	→		